

『北海道高齢者向け住宅事業者連絡会』 第7回理事会 議事録

(議事録作成：事務局 立花)

日 時：2013年 4月16日(火)13:30～15:00

会 場：NPO 法人シーズネット 研修室(北区北10条西4丁目)

出席者：(理事)奥田龍人、鹿野憲、石田幸子、狩野美香子、川尻明、小番一弘、沼田典子
(事務局)立花和浩

欠席者：(理事)近美津子 ※敬称略

私は、本議事録を確認したことを証し、署名する。

議長： 奥田龍人
(会長、理事、奥田社会福祉士事務所)

議事録署名人： 石田幸子
(副会長、理事、(株)アルワン)

議事録署名人： 狩野美香子
(理事、(有)介護サービス 輝)

【会議次第】

1 理事定数の確認

2 議事録署名人の指名

3 報告事項

1) 会員の現状について(4月15日現在)

- ・会員数現状 正会員 68 事業者(前回より10事業所増)

会員の所有または運営住宅数 136(一部未開設を含む)

賛助会員 69 社・個人(前回より8事業所増)

2) 2012 年度会計報告

- ・別紙のとおり

3) 各委員会の活動報告

- ・企画委員会 3名(住宅フェア、市民セミナーでの設営ほか)
- ・研修委員会 2名(2回実施し、勉強会のたたき台をつくる)
- ・評価委員会 6名(住宅評価事業の本委員会・部会 計6回に参加)
- ・広報委員会 0名

- 4) 「看取り」勉強会報告
 - ・これまで2回開催、次回開催日未定、準備中
- 5) 第2回住宅フェア報告
 - ・3月17日(日) サンプラザ
 - 約300名参加、目標の1000人に全然及ばず。
- 6) 国交省居住安定化事業「相談員養成研修」の報告
- 7) 厚労省老健事業「住まいの自己評価」の報告
- 8) その他

4 協議事項

- 1) 来年度事業計画および予算
- 2) 来年度役員体制
- 3) WAM助成事業
- 4) 法人化にむけて
 - ・できれば総会で提案
- 5) 総会について
 - ・監査
 - ・日程と場所
 - ・セミナーをするかどうか
- 6) 新規事業
 - ・サ付き住宅の登録事務を受託しているノウハウを生かし、旭川や函館の登録情報も収集して、毎月月末の道内を中心とした状況をレポート付きで発行する
 - ・高住連が持つノウハウを生かしてメーカーなどとタイアップして開設・運営セミナーの企画
- 7) 広報について
 - ・HPの活性化
 - ・ニュースレターをどうするか
- 8) 家賃について
 - ・月1.5~2万円を支払いたい
- 9) その他

【議事内容】

1 理事定数の確認

- 奥田・石田・鹿野・狩野・川尻・小番・沼田の7理事出席
8名中7名で、3分の2を満たしているので理事会の成立を宣言

2 議事録署名人の選任

- 石田理事・狩野理事を選任

3 報告事項

1) 会員の現状について

立花事務局員より報告（4月15日現在）

- 会員数現状 正会員 68 事業者（前回より10事業所増）
会員の所有または運営住宅数 136（一部未開設を含む）
賛助会員 69 社・個人（前回より8事業所増）

2) 2012 年度会計報告

奥田会長より報告

- 別紙「決算書、損益計算書、第2回住宅フェア収支決算」に基づき、2012年度の会計決算の報告がなされ、161万余が次期繰越金となることが説明された。
- なお、帳票原本等については会計担当の鹿野理事が内容についてチェックの上、監事に見ていただくこととした。

3) 各委員会の活動報告

- ・企画委員会 3名（住宅フェア、市民セミナーでの設営ほか）
- ・研修委員会 2名（2回実施し、勉強会のたたき台をつくる）
- ・評価委員会 6名（住宅評価事業の本委員会・部会 計6回に参加）
- ・広報委員会 0名
- 立花事務局員より1年間、委員会への手上げをお願いしてきたが現状の通り、なかなか参加者が増えないため、次年度は委員会を2つ程度に統合したいとの提案がなされた。

4) 「看取り支援」勉強会報告

- ・これまで2回開催、次回開催日未定、準備中
- 立花事務局員より、3月6日開催の第2回看取り支援勉強会について、18名の参加で実施されたことが報告された。

5) 第2回住宅フェア報告

- ・3月17日（日）サンプラザ
約300名参加、目標の1000人に全然及ばず。
- 奥田会長より、開催時期（まだ寒く、特に今年は残雪が多い時期となってしまった）、会場（北区であったこと）、周知の手段（新聞広告を取りやめたこと）などの反省材料の提示があり次年度はそれらの反省を生かし開催することとするとの説明がなされた。

6) 国交省居住安定化事業「相談員養成研修」の報告

奥田会長より報告

- 2～3月にわたり39名の受講者で実施された。
- 受講者は、札幌近郊だけでなく比較的的地方からの参加者も多かった。
- 受講者は、欠席もすくなく受講も熱心であった。

7) 厚労省老健事業「住まいの自己評価」の報告

奥田会長より報告

- 「高齢者向け住宅の自己評価ガイドライン」と、事業報告書を完成させ、近くホームページで公開するほか、道内のサ高住と札幌市内の高齢者向け住宅・下宿、合わせて500件に今月中に無料で送付の予定。
- 本年度の老健事業にも自己評価を発展させ、相互評価及び第三者評価をテーマにすでに応募済みであり、採択の際にはまた高住連としても事業協力する予定。

8) その他

4 協議事項

1) 来年度事業計画および予算

奥田会長より別紙「活動方針（案）」と「予算（案）」に基づき説明がなされ、了承された。

- 事業については初年度を踏襲して進めるほか
 - ① 任意団体から一般法人化を進める
 - ② 会員数も当初予定を大幅に上回り、業務量も増えると共に財政的にも多少の余裕が出来たため、0.5人を雇用したい。
 - ③ 会員の苦情対応の体制をつくる。

2) 来年度役員体制

- 狩野理事、近理事、小番理事より次年度退任の意向が示され、後任候補について何人かの候補が上がった。事務局で内々に打診をすることとした。

3) WAM 助成事業

奥田会長より報告

- 「高齢者虐待の受け皿としての高齢者住宅」といったテーマで WAM の助成事業応募の提案がなされ了承された。

4) 法人化に向けて

奥田会長より報告、了承された。

- 活動方針（案）に示された通り一般法人化をめざすこととし、第2回総会の議題とする。

5)総会について

- ・ 監査
- ・ 日程と場所
- ・ セミナーをするかどうか

協議の結果

- 日時：6月15日（土）
- 場所：かでの2・7
- セミナー：総会前に市民セミナーを兼ね実施とし、12月に講演いただいた厚労省の山口高齢者住宅対策専門官に要請してみることにした。

6)新規事業

- ・ サ付き住宅の登録事務を受託しているノウハウを生かし、旭川や函館の登録情報も収集して、毎月月末の道内を中心とした状況をレポート付きで発行する
- ・ 高住連が持つノウハウを生かしてメーカーなどとタイアップして開設・運営セミナーの企画
奥田会長より提案があり検討を進めることとした。

7)広報について

- ・ HPの活性化
 - ・ ニュースレターをどうするか
- 協議を継続し検討することとした。

8)家賃について

- ・ 月1.5～2万円を支払いたい

奥田会長より、現在無料で事務スペースの提供を受けているNPO法人シーズネットに対し、新年度より家賃の支払いの提案があり、月額2万円をきはらうこととした。

9)その他

- 次回の理事会開催
5月28日（火）18：30～ シーズネット研修室。

以上で、第7回理事会を終了した。

閉会